

## こどもクラブ待機児童対策の今後の方針について

### 1 経緯

「台東区こどもクラブ待機児童対策緊急3か年プラン」に基づき対策を進めてきた結果、待機児童数は令和5年度の178人から、令和7年4月時点で54人と減少している。しかし、申請者数は予測を上回る増加が続いており、令和8年度以降も引き続き待機児童解消に向けた取組が必要となっている。

### 2 待機児童対策の今後の方針について（全文：別紙）

#### （1）基本的な考え方

こどもクラブの定員を確保することに加え、放課後子供教室の拡充、児童館の活用など、放課後対策事業を一体的に推進していくことで、放課後に過ごす場所の選択肢を広げ、こどもクラブの需要の分散を図り、令和10年度に向けて待機児童の解消を目指す。

#### （2）主な取組内容

##### ①こどもクラブ

受入定員の拡大を図るため、民設こどもクラブの誘致を推進する。なお、整備地域については、地域ごとの利用申請状況等を勘案し、年度ごとに検討する。

##### 【民設こどもクラブ整備予定】

	8年度	9年度	10年度	計
民設こどもクラブ 整備予定数	1か所	2か所	1か所	4か所
こどもクラブ定員合計 《4月1日時点》	1,759 (40増)	1,759 (0※)	1,799 (40増)	(80増)

※浅草橋こどもクラブの旧柳北小学校活用期間終了による定員減（80減）との差引

##### ②放課後子供教室

令和9年度に金曾木小学校で放課後子供教室を開始するとともに、大規模改修工事期間が令和8年度から令和13年度まで続く田原小学校については、工事期間中に放課後子供教室を開始できるように関係各所と調整を図る。

また、こどもクラブの利用申請や整備等の状況を踏まえながら、各小学校と協議した上で実施時間延長校の拡大を進める。

##### ③その他の放課後の居場所

児童館（ランドセル来館事業）等の多様な居場所の充実と利用推進を継続する。

### 3 今後の予定

令和8年4月以降 取組実施

こどもクラブ待機児童対策の今後の方針について

1 これまでの経過

令和4年12月に策定した「台東区こどもクラブ待機児童対策緊急3か年プラン」に基づき、令和5年度から令和7年度にかけて待機児童対策を集中的に進めてきた。その結果、待機児童数は令和5年度の178人をピークに着実に減少しており、令和7年4月時点で54人となっている。対策の効果が現れている一方で、申請者数は予測を上回る増加が続いており、今後もこの傾向は続く見込みのため、令和8年度以降も引き続き待機児童解消に向けた取組が必要となっている。

(1) 取組実績

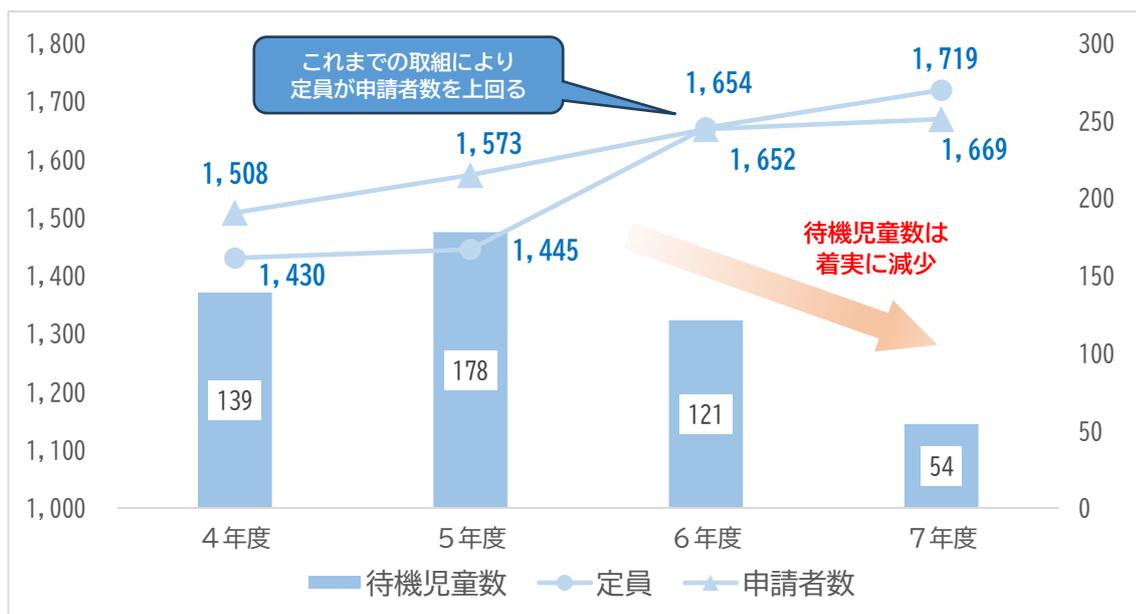
※7年度は12月末時点

	5年度	6年度	7年度	計
こどもクラブ新設	3か所	1か所	—	4か所
こどもクラブ定員増	145増	109増	35増	289増
放課後子供教室新規実施	2校	3校	2校	7校
児童館ランドセル来館	延4,414回	延4,054回	延2,667回	—

※その他の取組

- ・放課後子供教室の実施時間延長校：5校（8年度から10校）
- ・ベビーシッター利用支援事業の活用

(2) 待機児童数・定員・申請者数の推移



※待機児童数は7年度より国の基準としている

## 2 今後の需要予測

共働き世帯の増加等により、こどもクラブ需要は年々増加傾向にある。令和8年度以降、小学生年齢人口は減少していくと予測されているが、申請率は引き続き上昇し申請者数は増加する見込みである。また、区内の出生数が令和5年度以降増加に転じていることから、将来的な小学生年齢人口の増加の可能性があり、それに伴うこどもクラブ需要の増加に対応する必要がある。

### 【小学生年齢（6～11歳）人口とこどもクラブ申請者数の推移】

	実績			予測		
	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
小学生年齢人口	7,051	7,104	6,983	6,880	6,669	6,446
申請者数	1,573	1,652	1,669	1,722	1,746	1,766
申請率	22.3%	23.3%	23.9%	25.0%	26.2%	27.4%

## 3 待機児童対策の今後の方針

### (1) 基本的な考え方

こどもクラブの定員を確保することに加え、放課後子供教室の拡充、児童館の活用など、放課後対策事業を一体的に推進していくことで、放課後に過ごす場所の選択肢を広げ、こどもクラブの需要の分散を図り、令和10年度に向けて待機児童の解消を目指す。

### (2) 取組内容

#### ①こどもクラブ

受入定員の拡大を図るため、民設こどもクラブの誘致を推進する。なお、整備地域については、地域ごとの利用申請状況等を勘案し、年度ごとに検討する。このうち、令和8年度及び9年度は、浅草橋こどもクラブの旧柳北小学校活用期間終了に伴い定員の減少を予定している台東育英小学校区を優先する。

また、令和10年度中には、台東小島ビルに公設こどもクラブである「(仮称)小島こどもクラブ」の開設を予定しており、令和11年度以降における周辺地域の受入定員を確保する。

#### 【民設こどもクラブ整備予定】

	8年度	9年度	10年度	計
民設こどもクラブ 整備予定数	1か所	2か所	1か所	4か所
こどもクラブ定員合計 《4月1日時点》	1,759 (40増)	1,759 (0※)	1,799 (40増)	(80増)

※浅草橋こどもクラブの旧柳北小学校活用期間終了による定員減(80減)との差引

【(仮称)小島こどもクラブ整備予定】

	8年度	9年度	10年度
(仮称)小島こどもクラブ 定員：40～60名程度	整備工事	整備工事	開設準備・ 年度内開設※

※年度内の開設を予定しているため令和10年4月1日時点のこどもクラブ定員には含めない。

②放課後子供教室

令和9年度に金曾木小学校で放課後子供教室を開始するとともに、大規模改修工事期間が令和8年度から令和13年度まで続く田原小学校については、工事期間中に放課後子供教室を開始できるように関係各所と調整を図る。

また、こどもクラブの利用申請や整備等の状況を踏まえながら、各小学校と協議した上で実施時間延長校の拡大を進める。

③その他の放課後の居場所

児童館（ランドセル来館事業）等の多様な居場所の充実と利用推進を継続する。

【定員と申請者数の見込】

